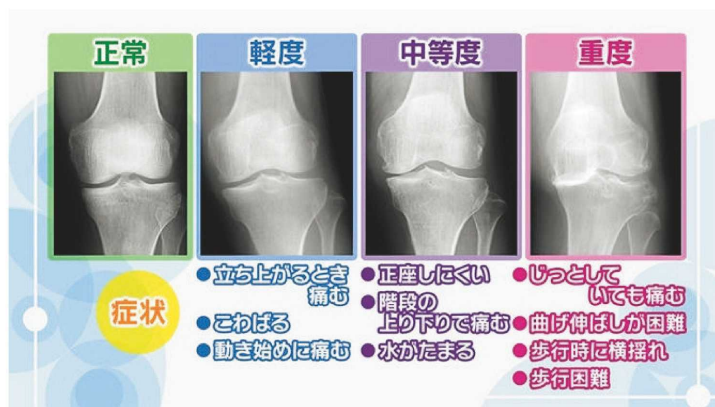


変形性膝関節症の症状

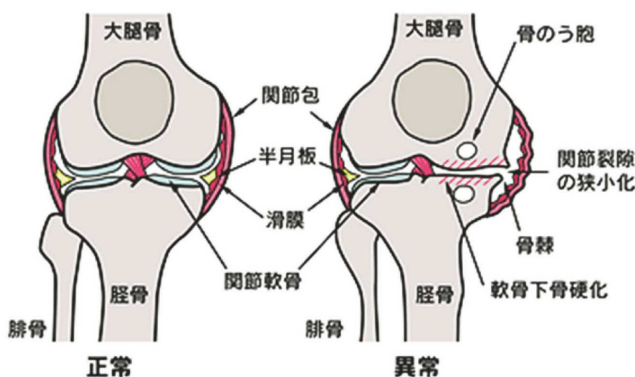
- 男女比は1:4で女性に多くみられ、高齢者になるほど罹患率は高くなります。主な症状は膝の痛みと水がたまることです。

初期では立ち上がり、歩きははじめなど動作の開始時のみに痛み、休めば痛みがとれますが、正座や階段の昇降が困難となり（中期）、末期になると、安静時にも痛みがとれず、変形が目立ち、膝がピンと伸びず歩行が困難になります。



原因と病態

- 原因は関節軟骨の老化によることが多く、肥満や素因（遺伝子）も関与しています。また骨折、靱帯や半月板損傷などの外傷、化膿性関節炎などの感染の後遺症として発症することがあります。加齢によるものでは、関節軟骨が年齢とともに弾力性を失い、使い過ぎによってすり減り、関節が変形します。



診断

- 問診や診察、時に触診で膝内側の圧痛の有無、関節の動きの範囲、腫れやO脚変形などの有無を調べ、X線（レントゲン）検査で診断します。必要によりMRI検査などをします。



正常 X線（レントゲン）写真
変形性膝関節症

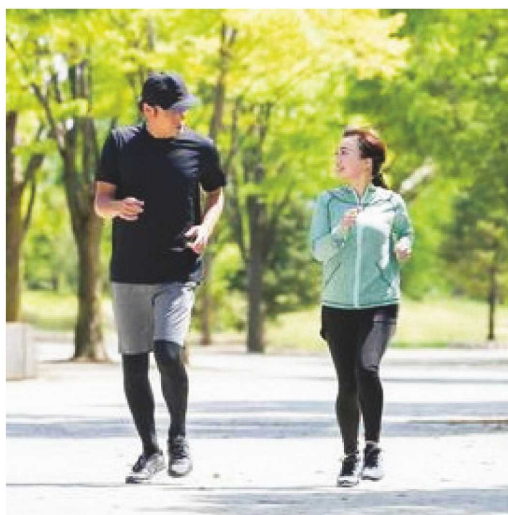
立位で撮影すると変形が、より明らかになる

●手術治療

- 当科では患者さんの活動性、膝関節の変形程度に応じて術式を使い分けています。問診で何が一番困っているのか、生活で何を大切にしているのかなどを確認しベストな治療を提供できるよう日々診療をしています。
- 手術には大きく分けて関節温存のできる高位脛骨骨切り術と変形した関節を取り替える人工膝関節置換術(単顆型人工膝関節置換術、人工膝関節全置換術)の二つがあります。

●手術治療 1) 高位脛骨骨切り術

- 骨切りはランニングや山登りなどスポーツや高いアクティビティを望む患者さんに適しています。
- 変形の程度としては**軽度**から中等度までが安定した術後成績が得られます。



- O脚になっている膝を骨切りで矯正しX脚にします。

膝の内側に集中している体重を外側に分散させることで痛みが取れる手術です。

- 入院期間は2-3週間となります。



膝を骨切りで矯正し、プレート固定



手術前



手術直後



手術1年後

●手術治療2) 単顆型人工膝関節置換術 (UKA)

- 中等度一重度変形に対する治療
- 単顆型人工膝関節置換術 (UKA) は内側だけの変形が手術対象です。
- 内側だけを人工関節にするため、リハビリの進みが早いのがメリットです。
- 入院期間は1-2週間となります。



単顆型人工膝関節



内側だけの変形が手術対象



内側だけを人工関節に置換

●手術治療3) 人工膝関節全置換術 (TKA)

- 中等度一高度変形に対する治療
- 人工膝関節全置換術 (TKA)
- 膝全体の変形が対象
- 1か月程度の入院を要する病院が多いが、当科では術式を工夫し2週間程度での退院が可能となります。



人工膝関節全置換術



膝全体の変形が手術対象



手術後